

2026 年 8 月 19 日

各 位

(経過開示) Discord コミュニティ分析ツール「comcom Analytics」における
新機能（プレゼンス統計分析機能）提供開始のお知らせ

当社が運営する Discord コミュニティ分析ツール「comcom Analytics（コムコム・アナリティクス）」におきまして、2026 年 9 月 1 日（火）より、Discord のプレゼンス情報を活用した新機能（プレゼンス統計分析機能）の提供を開始いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

The screenshot displays the comcom Analytics dashboard. On the left, a sidebar lists 'abc株式会社', 'Discordコミュニティ分析', '「comcom Analytics」', and 'プレゼンス分析機能提供開始'. The main area shows a laptop screen with the tool's interface. The interface includes a header 'COMCOM Analytics' and a main heading '発言しなくても、「いる」が見える プレゼンス情報の分析に対応'. Below this, there are two green status indicators: 'サーバー管理者の許可制' and '統計情報のみ・個人は識別しません'. The dashboard features several charts: a donut chart for 'いま遊んでいるゲーム' (Games being played now) with data for Game A (35%), Game B (25%), Game C (15%), and Others (25%); a bar chart for 'プレイ環境の内訳' (Breakdown of play environment) with data for PC (55%), モバイル (35%), and ブラウザ (10%); and a bar chart for '在席メンバーの内訳' (Breakdown of members present) with data for 発言あり (20%), 発言なし (40%), 発言なし (20%), and 発言なし (20%).

1. 背景および目的

当社は、2025 年 11 月 11 日付適時開示「[『comcom Analytics』事業譲受に関するお知らせ](#)」にて既報のとおり、同事業を譲り受けて以降、AI を活用した開発体制への移行と機能改善を推進してまいりました。

これまで「comcom Analytics」におけるコミュニティ分析は、メッセージ投稿・リアクション・ボイスチャンネルの利用といった「行動の記録（発言・明示的なアクティビテ

ィ) 」を中心に行ってまいりました。しかしながら、実際のコミュニティにおいては「発言を行わずに在席しているメンバー」の存在が大きく、コミュニティの正確な熱量や実態を把握するうえでの課題となっております。

当社は、2026 年 6 月 26 日付「[Discord 分析『comcom Analytics』が大型アップデート、AI コミュニティ分析を無料提供開始](#)」および直近の一連のアップデートにてデータ基盤およびサービス機能の強化を推進してまいりましたが、この度、Discord の「プレゼンス情報」（オンライン状態・接続端末の種別・実行中のアクティビティ）を用いた新たな分析機能の開発を完了いたしました。

本機能により、これまで「非活動層」として一括りにされていた「発言していない在席層」を含めた可視化を実現し、コミュニティ運営者がより多角的かつ正確なデータに基づいた運営を行える環境を提供いたします。

2. 新機能（プレゼンス分析機能）の主な内容

本機能の導入により、新たに以下の 4 点の統計データの把握・可視化が可能となります。

（1）発言していない在席層の規模把握

メッセージ投稿等のアクションを行っていない在席層の規模を可視化し、休眠ユーザーと明確に区別してコミュニティの真の規模感を把握できます。

（2）在席の時間帯およびピーク分析

曜日・時間帯ごとの在席層の厚みを可視化し、イベント開催や告知の最適なタイミングの判断材料として活用いただけます。

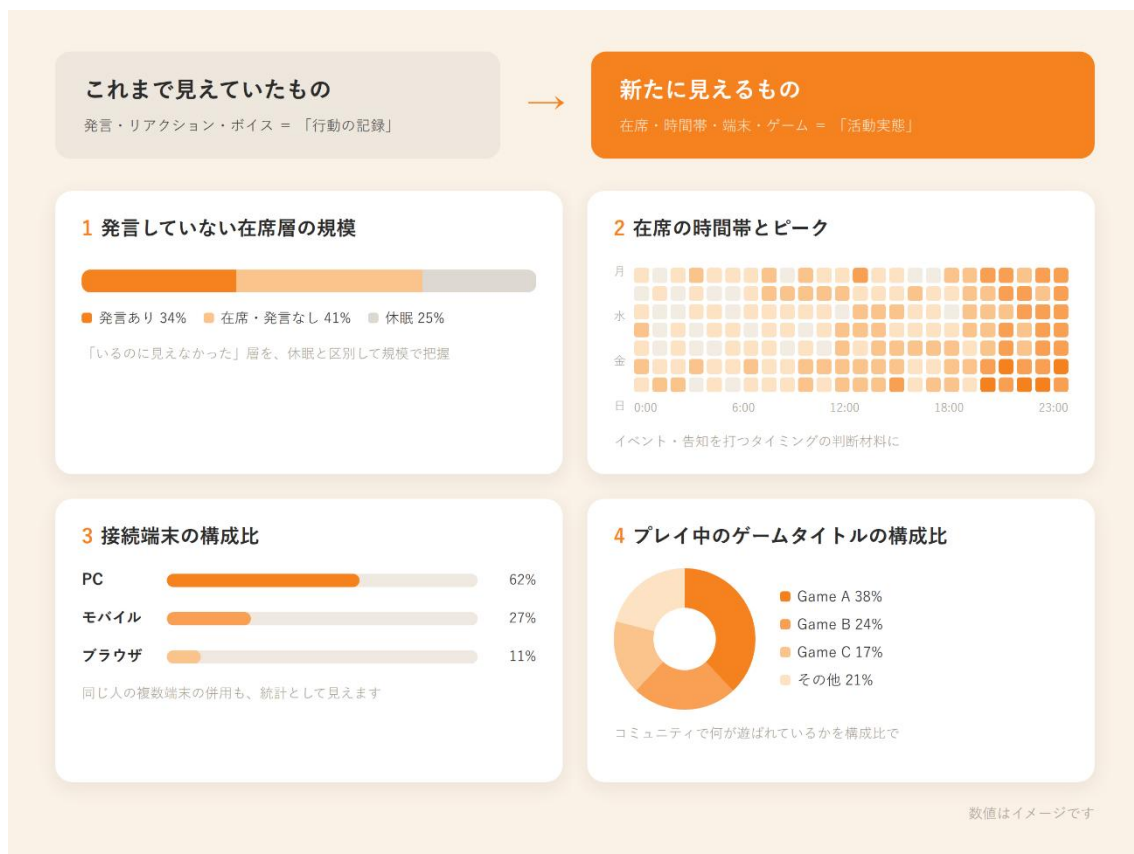
（3）接続端末の構成比

参加メンバーの接続端末（PC／モバイル／ブラウザ）の比率や、同一ユーザーによる複数端末の併用状況を集計・可視化します。

（4）実行中アクティビティ（プレイ中ゲームタイトル等）の構成比

メンバーが Discord 上で公開しているゲームタイトル等を構成比として可視化し、コミュニティ内でのトレンドや関心事を可視化します。

※プレゼンス情報は取得開始以降のデータが蓄積される仕様であり、過去に遡っての取得はできません。また、ユーザーが Discord の設定でアクティビティの共有を制限している場合はデータ配信の対象外となります。



3. ガバナンス・データ取扱いおよびプライバシーへの配慮

当社は、データの活用にあたり「技術的に取得可能であること」と「事業として取り扱ってよいこと」を明確に区別し、ユーザーのプライバシー保護を最優先とした以下の設計を行っております。

➤ 完全オプトイン制（既定値オフ・撤回可能）

プレゼンス情報の取得には Discord の特権インテント（Presence Intent）が必要となります。当社は正当な承認を得ておりますが、サービス運用上は「サーバー管理者が明示的に許可（オプトイン）したサーバー」でのみ動作する設計としております。許可がない状態が既定値（デフォルト OFF）であり、許可はいつでも撤回可能です。



➤ 個人を特定しない統計処理・未許可データの即時破棄

取得する情報は特定の個人を識別できない統計情報に加工して提供いたします。個人識別が可能な形式のデータは統計処理完了後、遅滞なく削除いたします。また、少人数サーバーにおいては統計値から個人が推測されないよう表示制限を行います。なお、許可を得ていないサーバーのプレゼンス情報は、受信した時点で直ちに破棄し、保存・分析その他一切の利用を行いません。

➤ 利用規約およびプライバシーポリシーの改定

本機能の提供に伴い、取得情報の範囲および取扱い規定を明確化するため、2026 年 9 月 1 日付で利用規約およびプライバシーポリシーを改定いたします。本改定内容は外部の法律専門家による確認を経ています。

・利用規約：<https://analytics.comcom.app/terms>

・プライバシーポリシー：<https://analytics.comcom.app/privacy>

4. 代表取締役 松田元のコメント



「Discord のボットには、技術的には多くの情報が集まり得ます。だからこそ私たちは、『受け取れること』と『取り扱ってよいこと』を分けて考え、許可が既定でオフ・個人を識別しない統計のみ・いつでも撤回可能、という設計から始めました。コミュニティの熱量を数字にする仕事は、メンバーの皆さまの安心の上にしか成り立たないと考えています。」

5. 提供開始時期および利用条件

提供開始日：2026 年 9 月 1 日（火）より順次提供開始

利用条件：サービス画面上におけるサーバー管理者による許可の付与

6. サービス概要

名称	comcom Analytics (コムコム・アナリティクス)
内容	Discord コミュニティの活動データの集計・分析および可視化
URL	https://analytics.comcom.app

なお、本件が当社連結業績に与える影響は軽微です。

※本リリースには将来の見通しに関する記述が含まれますが、これらは現時点で入手可能な情報に基づくものであり、今後の状況により変更される可能性があります。本リリースは投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身の判断と責任においてお願いいたします。

※Discord は、Discord Inc. の商標または登録商標です。本サービスは Discord Inc. が提供・保証・承認するものではなく、当社は Discord Inc. と提携関係にありません。

価値という言葉がある。消費者という言葉がある。間に、お金がある。

「お金」というチケットと、自分の欲を交換する日々。

チケットの枚数が、この世界で体験できることの数を決めている。

だからまるで、銀行口座の貯金額は、自分のHPのように思える。

HP999で安心？このHPは、何かと交換できるから価値がある。

食事と、衣服と、住居と、週末と。

しかし、チケット何枚で交換ができるのかは、時代と共に移り変わる。

そして、チケット自体の価値も変わる。

硬い金属の箱の奥にしまったチケットは、次開けたとき、枚数が変わっている。

交換のルールも、チケットの枚数も、私たちの目の前とでは違うところで決定されている。

暑い夏に感じる資本主義は、こんな景色だ。

世界は、人々が価値を交換し合うことで生まれる。私たちは「消費者」ではない。

価値をつくる人に対して、対等な価値を与える人だ。

昔々は貝殻で、ちょっと前はお米で、現代は「お金」で、価値を考えてきた。

だけど私たちは、目の前で溶けていくお米に対して、

貝殻でしか、交換ができないのだろうか？

私たちは、いま・ここで、もっと自由に交換できるはずだ。

abcは、いま・そこからで生まれるはずの価値交換を、次の100年に向けて成り立たせる。

人間や文化の多様性は、自由な価値交換によって、生まれてきたはずだから。

多様性を通貨にする abc

■ abc 株式会社について <https://abc-chain.com/>

abc は「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティブの判断軸とすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abc のグループ企業ネットワークにも「Tokenized by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目 9 番 17 号 赤坂第一ビル 11 階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部

pr@abc-chain.com

以上